

## ●●年度△△中学校×年生の英語の授業について

## 人間の共通点はなに？

私たち日本人にも、今まで会ったこともないアマゾンのジャングルの奥深くに生活している人たちにも、共通して備わっている能力に、言葉話すという能力があります。彼らの生活には文字は必要ないかもしれませんが、私たちと同じように言葉を使って他人とコミュニケーションをとることができます。私たち日本人は読み書きできるのは当たり前と思っていますが、世界には文字を持っていない民族や文字を読み書きできない人々がたくさんいます。しかし、この世の中に存在する人間はみんな言語を使ってコミュニケーションをとることができるのです。

## どうやって日本語を身につけたの？

みなさんはどうやって言葉をはなせるようになりしましたか？生まれたての赤ちゃんのころから周囲の大人が話しているのを聞いたり、人から話し掛けられたりしながら徐々に話せるようになったのです。おそらく、赤ちゃんのころからまわりの大人に「これはミルクって言うのよ。ミルク、ミルクって言いなさい。」なんて言われたり、教科書を引っ張り出してきて『これは』の『これ』っていうのは近くの物を指すときに使う代名詞よ。」なんて教わったりはしなかったはず。障害を持っていないければ、人間は言葉をはなせるようにプログラムされて生まれ、まわりの大人が話す声を聞きながら言葉を「身につけ」ていくのです。

よく「言葉をはなせる」という表現を耳にしますが、言葉をはなせるものではなく「身につける」ものと言えます。教科書を開いて、文を読んで、単語のつづりを覚えて…なんて言うのが恐らくみなさんの英語の勉強法でしょう。しかし、これは覚えての作業であり、身につける作業ではありません。なぜなら、全く本当の音を聞いていないからです。「覚え」れば、確かにテストでは点を取ることができるかもしれませんが、しかし、「身につけ」て使えるようにはなかなかなりません。黒板に書いた「have」という単語を読みなさいと言われても、たいがいの日本人は沖縄に生息している毒へびと同じ発音でこの単語を読みま。実際の音を聞かないで文字を読もうとすると正しく言葉は身につけられないのです。

## 英語の勉強法

では、「英語の勉強はどうすればいいの？」ということになります。残念ながら日本語と全く同じように身につけることは不可能なようです。まわりの人が英語しか話さないという環境を作り出すのは無理ですし、みなさんはもう12～13才ですので言葉を自然に身につける能力が幼児の頃ほどはないのです(諸説あるのではっきりしたことは言えません)。

しかし、日本語を身につけた時にできるだけ近い方法で、英語を学習することが大切です。それにはとにかく英語を聞くのです。自分が赤ちゃんになったつもりでもいいですし、あるいはひとりで日本人がいない外国で生活をしなければならぬつもりになってもいいでしょう。とにかく聞いて真似して声に出してみるのが必要です。教科書は閉じたままで構いません(というより閉じていた方がいい)。

そこで、みなさんに是非やって欲しいのが「シャドウイング (shadowing)」です。これは人が話しているすぐ後を追い掛けて同じように発音してみるというものです。初めはとて難しく感じるかもしれませんが、2回、3回と練習していくうちにだんだんと発音できるようになっていくでしょう。どうしてもなんて言っているかわからないとき初めて教科書を開いて確認すればよいのです。シャドウイングをやれば集中して聞いているので、発音だけでなく、聞き取る力がつきますし、教科書の本文も覚えやすくなります。一石二鳥にも三鳥にもなるでしょう(授業では音読のテストをします)。

それでは、和訳(日本語訳)や文法はどうしたらよいのでしょうか。英語学習は和訳することや英語のルールを覚えることが目的ではありません。英語を理解したり使ったりするときの手助けとして和訳や文法学習があるのです。ですから、日本語に訳す時間や文法の説明の時間はなるべく短くしたいと思います。

とにかく、最後にくり返して言いたいのは、英語を勉強するときは、教科書を開いて和訳など考える前に、「まず音を聞きそれと同じように発音する」ということです。そうすれば英語の力がめきめきとついていくことでしょう。みなさんの健闘を祈ります。

年 組 番 氏名 :

---